

令和7年度社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業について

1 対象事業

実施主体	事業名（事業の目的）	実施期間
香川県	社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業「ひきこもり対策事業（ひきこもりサポーターを活用した多様な居場所の設置）」 相談窓口の開設やひきこもりの特性に合わせた多様な居場所の確保を進めることで、支援の入口を広げ、支援に繋がりにくいひきこもり当事者や家族の社会参加を後押しする。	R7.4～ R8.3

2 事業実績等

ひきこもり当事者、家族向けの居場所を県内3カ所、オンライン居場所1カ所を設置し、当事者等が農作業体験や料理やゲーム、匿名での座談会等を通じて社会とつながることができる支援を実施した。

SNS相談では、対面での相談に抵抗を持つひきこもり当事者やその家族の相談に対するハードルを下げるとともに、必要に応じて対面でのより専門的な相談につなげるなど個々のケースに応じた支援を行った。

今後は、周知広報にさらに強化し、必要としている方に本事業の情報を届けられるよう努めたい。

利用実績

指標名	実績値
ひきこもり当事者が通いの場（オンライン、オフライン居場所）に参加した延人数	196人
オンライン居場所の開催回数	12回
SNS（LINE相談窓口）の相談件数	2,102件

3 中高年世代活躍応援プロジェクトかがわ協議会における報告（書面開催）

令和7年度社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業「ひきこもり対策事業（ひきこもりサポーターを活用した多様な居場所の設置）」の実績については、経済団体や労働団体をはじめ、関係機関、団体等で構成する「中高年世代活躍応援プロジェクトかがわ協議会」の第2回会議（令和8年3月13日書面開催）で報告した。